

Ⅲ 豪雨・大雨災害被害と復旧・復興

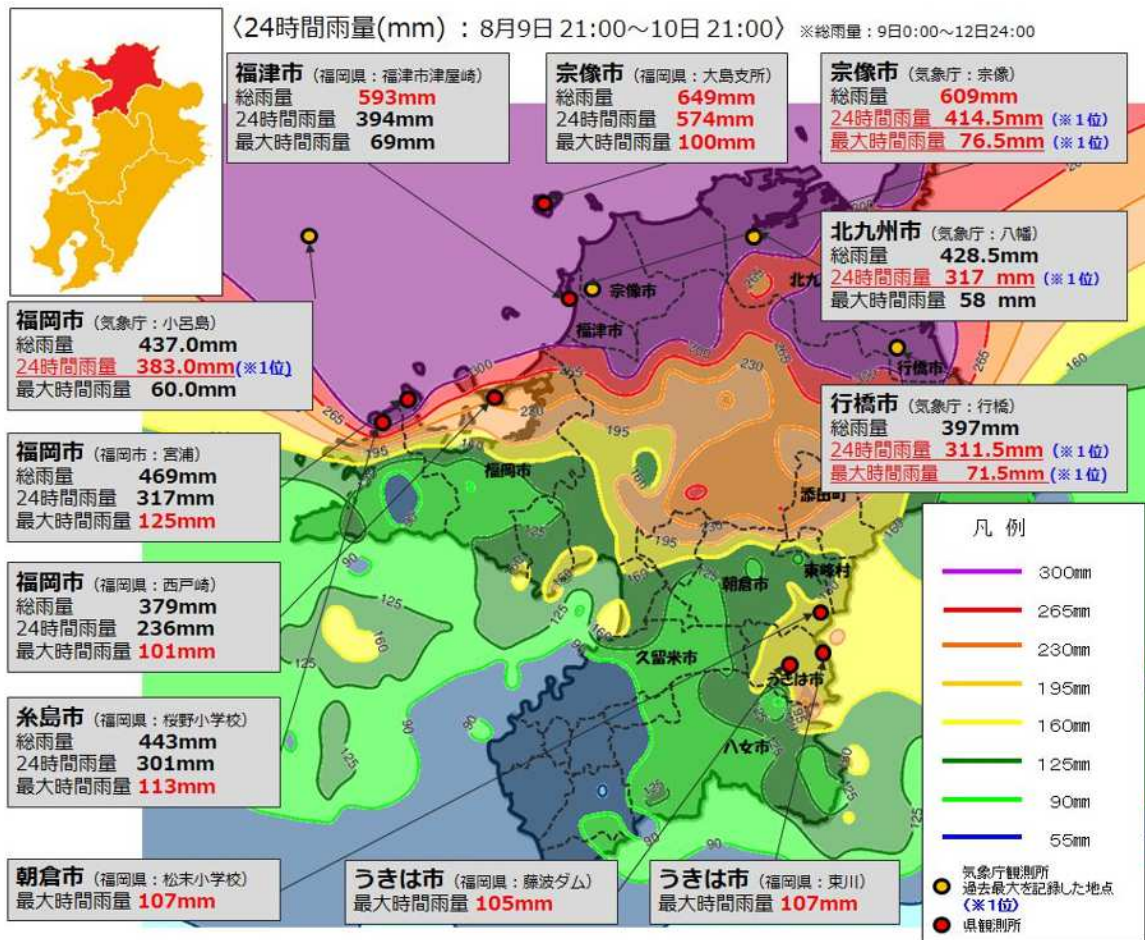
(県土整備企画課)

Ⅲ 豪雨・大雨災害被害と復旧・復興

1 令和7年8月の大雨

(1) 降雨の状況

- 福岡県では、8月9日から12日にかけて県内全域で**6回の線状降水帯が発生**し、猛烈な雨や非常に激しい雨が断続的に降り続いた。
- 福岡地方や北九州地方の沿岸部を中心に、**総雨量が600mmを超える記録的大雨となった。**
- 近年では、**平成29年7月九州北部豪雨に次ぐ、24時間雨量574mmを観測**
- 記録的短時間大雨情報が6回発表され、県内の7観測所で、**最大時間雨量100mmを超える雨量を観測**



〈近年発生した過去の豪雨・大雨との比較〉

	主な被災地域	雨量	最大時間雨量
令和7年8月の大雨	福岡地域・北九州地域	574mm / 24h (宗像市：大島支所)	125mm/h (福岡市：宮浦)
令和5年7月の大雨	筑後地域・福岡地域南部・筑豊地域南部	507mm / 24h	98mm/h
令和3年8月豪雨	筑後地域・福岡地域南部・筑豊地域南部	718.5mm / 72h (337mm/24h)	72mm/h
令和2年7月豪雨	大牟田市・久留米市	727mm / 48h (517mm/24h)	105mm/h
令和元年8月の大雨	八女市・久留米市 朝倉市	422mm / 24h	87mm/h
平成30年7月豪雨	県内の広い範囲	602mm / 48h (454mm/24h)	74mm/h
平成29年7月九州北部豪雨	朝倉市・東峰村	894mm / 54h (829mm/24h) (774mm/9h)	124mm/h

(2) 被害状況

死者	床上浸水	床下浸水	道路	橋梁	河川	土砂災害
2人	74件	173件	154件	2件	116件	90件

R7年9月4日 令和7年度第2回福岡県災害復旧・復興推進本部会議資料より



本木川 堤防越水の状況 (福津市内殿)



本木川 護岸崩壊の状況 (福津市畦町)

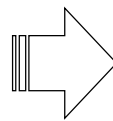
(3) 復旧事業 (県実施分)

単位：箇所

施設	原形復旧		
	道路	河川	砂防
全数	14	57	2

R8年1月31日時点

ア 原形復旧



樽見川 (宗像市吉田) 復旧状況

イ 災害復旧助成事業

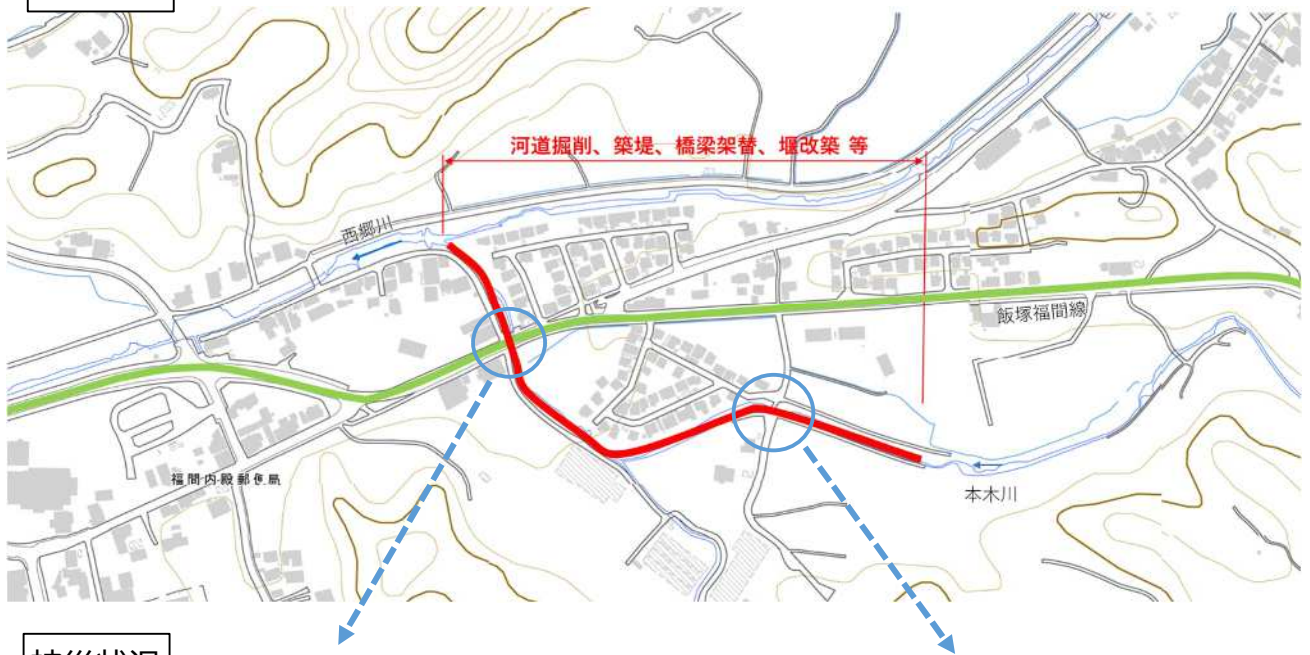
・本木川

- 二級河川西郷川水系本木川（福津市畦町）は、令和7年8月の豪雨により、護岸や橋梁の被災、越水による家屋の浸水等の甚大な被害が発生した。
- 災害復旧助成事業により、引堤等により河道の流下能力を向上させ、再度災害の防止を図る。

位置図



平面図



被災状況



本木川 浸水被害の状況（福津市畦町・内殿）



本木川 市道橋の落橋状況（福津市畦町）

2 近年発生した豪雨・大雨災害の被害と復旧

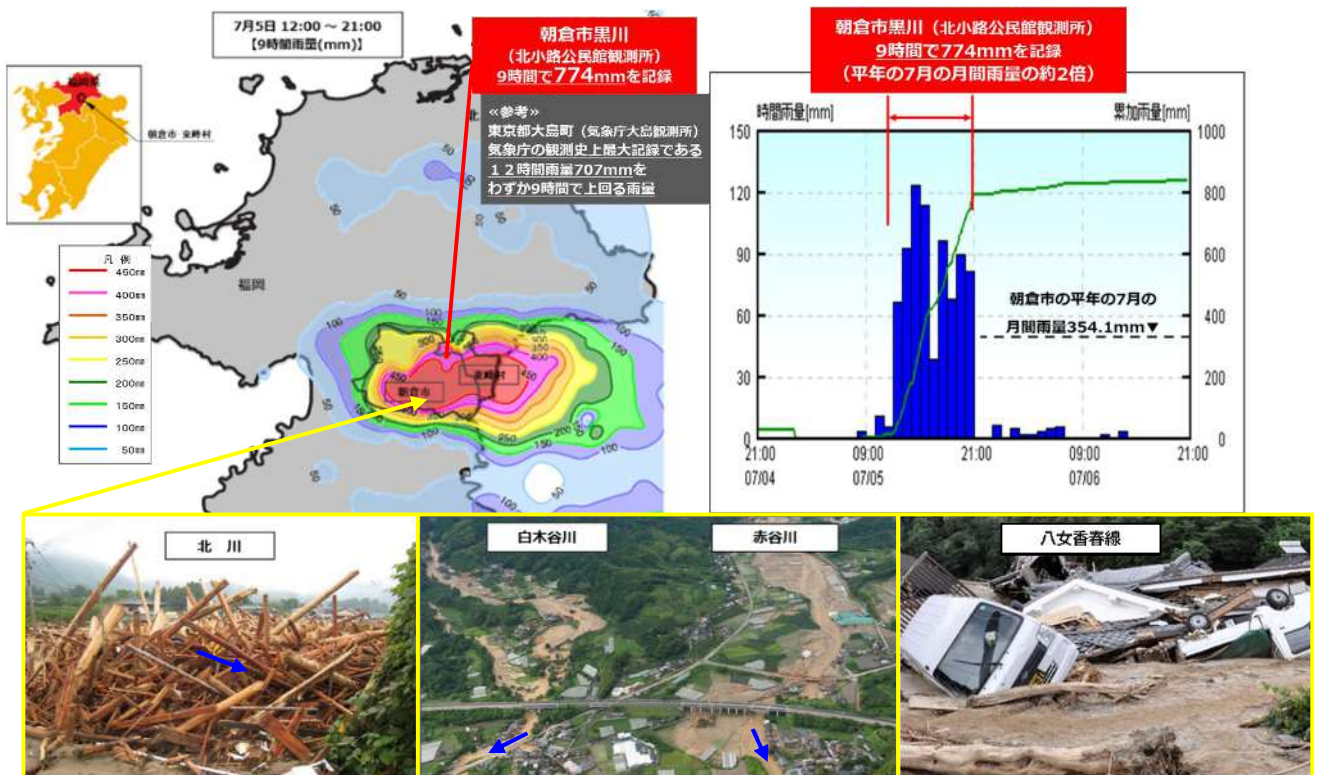
福岡県では、大雨特別警報が平成29年九州北部以降の9年間で6回発表されており、全国で最多を数え、毎年のように大規模な自然災害が発生しています。県土整備部では被災地の復旧・復興に向けて全力で取り組んでいます。

(1) 降雨の状況

近年の豪雨・大雨災害においては、6時間～72時間雨量が月間雨量の数倍となり、各所で甚大な被害が発生しています。(P13 近年発生した豪雨・大雨との比較参照)

【事例】平成29年7月九州北部豪雨

- 福岡県の朝倉市、東峰村を中心としたエリアにおいて、**わずか9時間で774mm**という、**短時間に記録的豪雨を観測** <福岡県観測：朝倉市黒川（北小路公民館観測所）7月5日12時から21時>
 - ⇒ **観測史上最大の記録である12時間雨量707mmを上回る雨量**
<気象庁観測：東京都（大島観測所）H25.10.16>
 - ⇒ **朝倉市の7月平均月間雨量の2倍を超える雨量**



(2) 被害状況

・近年発生した各豪雨・大雨における主な被害状況

被害総括表

被害	死者	床上浸水	床下浸水	道路	河川	砂防
単位	人	棟	棟	箇所	箇所	箇所
H29	37	22	597	613	463	45
H30	4	929	2,461	1,487	375	-
R1.7	-	148	313	114	47	-
R1.8	1	120	349	378	161	-
R2	2	648	1,383	961	333	-
R3	-	360	1,210	481	133	-
R5	5	1,129	2,311	752	552	166

平成29年～令和3年：各年の災害年報より
令和5年：令和5年8月14日時点 7月7日からの大雨に関する情報（第36報・最終報）より

(3) 復旧事業

ア 原形復旧

令和4年度までに発生した災害において、原形復旧工事はすべて完了しています。

イ 改良復旧

・近年発生した各豪雨・大雨における改良復旧状況

	道路（区間）			河川（km）			砂防（箇所）		
	全数	完成	完成率	全数	完成	完成率	全数	完成	完成率
H29	3	3	100%	98.4	98.4	100%	57	57	100%
H30	-	-	-	0.6	0.6	100%	10	10	100%
R1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R2	-	-	-	-	-	-	9	9	100%
R3	-	-	-	-	-	-	3	1	33%
R5	-	-	-	12.4	8.2	66%	7	3	43%
R7	-	-	-	0.5	0.0	0%	-	-	-



愛宕地区急傾斜地崩壊対策施設完成（福岡市西区）



逆瀬谷地区地すべり対策施設事業状況（八女郡広川町）

ウ 浸水対策

平成31年度・令和2年度に浸水対策重点地域緊急事業に着手し浸水対策を進めています。

河川名	事業開始	進捗状況
筑後川水系金丸川・池町川	R2	事業中
筑後川水系下弓削川	R2	R4完了
筑後川水系山ノ井川	H31	R5完了
遠賀川水系庄内川	H31	R6完了
遠賀川水系庄司川	R2	R6完了



流出施設内部



放水路内部

筑後川水系金丸川・池町川
放水路事業状況（久留米市）



地下調節池内部

筑後川水系金丸川・池町川
地下調節池事業状況（久留米市）

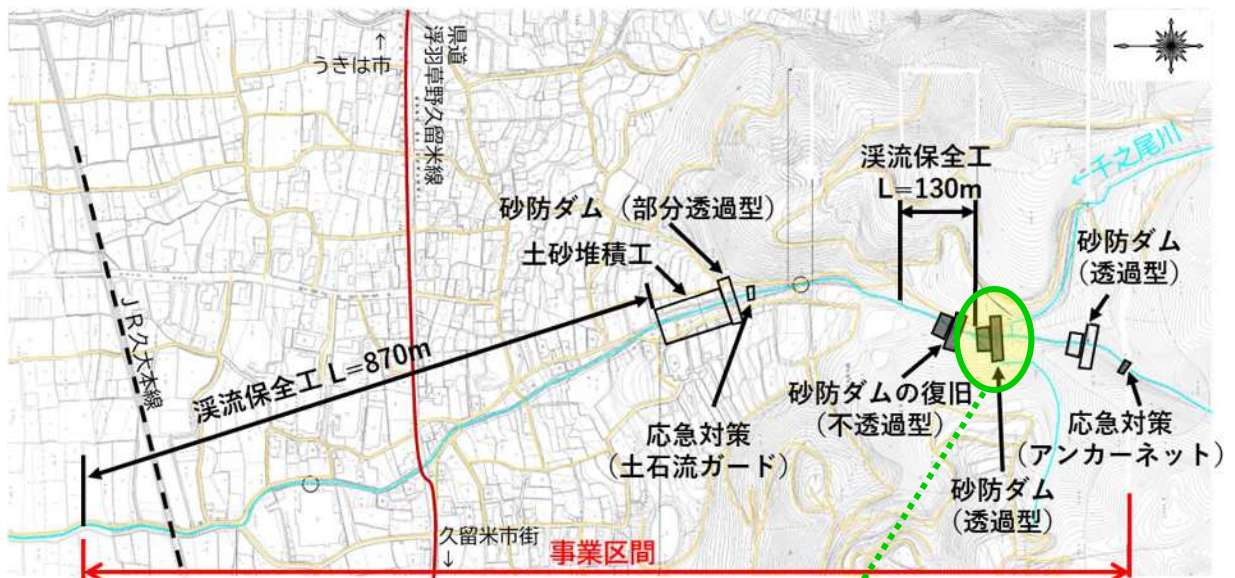
【改良復旧の事例】千之尾川

- 一級河川筑後川水系千之尾川（福岡県久留米市田主丸竹野）は、令和5年7月の豪雨により、土石流災害が発生したため、特定緊急砂防事業により砂防施設の整備を計画的・集中的に実施することにより、早期に安全度を向上させる。
- 砂防施設を整備することで、人家36戸、官公庁舎、県道等の重要なインフラライフラインを土石流による被害から保全する。

位置図



被災状況



現地状況



砂防堰堤本体 完成

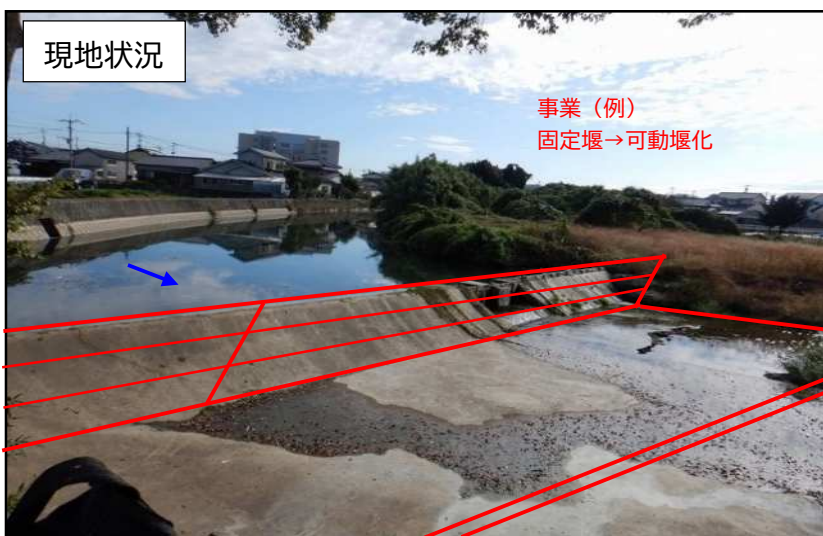
【浸水対策の事例】 広川

筑後川水系広川浸水対策重点地域緊急事業

○ 令和5年7月の豪雨により、床上浸水62戸、床下浸水250戸の甚大な浸水被害が発生したことを受け、浸水対策重点地域緊急事業により、堰改築等を集中的に実施し、令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して、河川からの氾濫による床上浸水被害の9割解消を目指す。



写真 令和5年7月の豪雨による浸水被害（八女郡広川町）



凡例	
—	事業箇所(掘削)
●	事業箇所(堰)
■	事業箇所(橋梁)
	R5 浸水範囲
●	要配慮者利用施設
●	官公庁舎

※各対策は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性がある。

【浸水対策の事例】巨瀬川

筑後川水系巨瀬川災害復旧助成事業、浸水対策重点地域緊急事業

- 令和5年7月の豪雨により、福岡県管理区間において床上浸水290戸、床下浸水812戸の甚大な浸水被害が発生したことを受け、災害復旧助成事業及び浸水対策重点地域緊急事業に着手しており、令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して、河川からの氾濫による床上浸水被害の解消を目指す。



写真 令和5年7月の豪雨による浸水被害（巨瀬川流域）

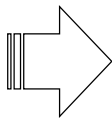


調節池予定箇所

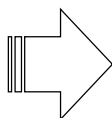
※各対策は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性がある。

<被災箇所の現況> 【参考】

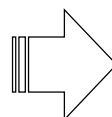
平成29年7月九州北部豪雨



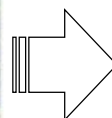
県道甘木吉井線道路決壊(朝倉市黒川)



真竹地区土砂災害(朝倉市杷木松末)



桂川堤防決壊(朝倉市宮野)

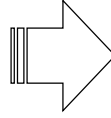


赤谷川流域豪雨被害(朝倉市杷木星丸)【写真:九州地方整備局提

(YouTube 平成29年7月九州北部豪雨災害からの復旧)

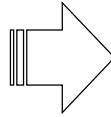


平成30年7月豪雨



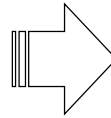
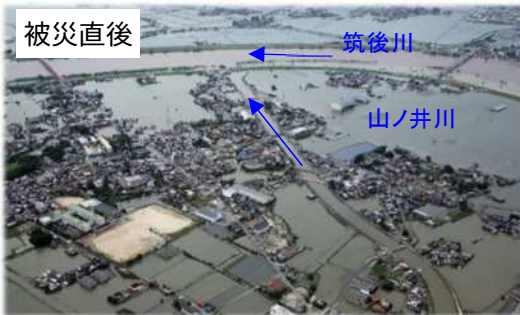
筑後川水系下弓削川浸水被害(久留米市東合川)

令和元年7月、8月の大雨



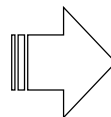
筑後川水系池町川浸水被害(久留米市梅満町)

令和2年7月豪雨



筑後川水系山ノ井川浸水被害(久留米市城島町)

令和3年8月の大雨



高山地区土砂災害(朝倉市杷木志波)